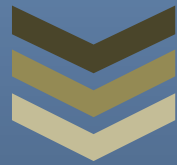


彩の国いきがい大学伊奈学園
伊奈さいたま会 10 周年記念誌



生い立ち

伊奈さいたま会は、平成 17 年 5 月に発足しました。皆様の努力のお陰をもちまして、10 年目を経過しました。このけじめの時に過去を振り返り、それを糧に明日を目指しさらに発展させましょう。

ごあいさつ

彩の国いきがい大学伊奈学園所長 佐藤 ひさ子

伊奈さいたま会10周年、誠にありがとうございます。心よりお祝い申し上げます。



伊奈さいたま会様は、伊奈学園14期生の有志の方が、平成17年5月に設立され、以来、「仲間づくり・助け合い」、「地域社会への貢献」、「いきがいづくり」を目的として、様々な活動を展開されてこられました。10周年を迎えられた現在では、100名を超す会員数を有する大きな団体に成長されておられます。

これもひとえに長年にわたる関係の皆様のとゆまない努力の賜物と深く敬意を表するとともに、伊奈学園の卒業生がこのようにご活躍されていることに、所長として大変誇らしく嬉しく思います。

これから迎える超高齢社会で、活力ある幸せな社会を築いていくには、高齢者の方々も社会を担う一員として大いにその力を発揮していただくことが期待されております。これからも元気でご活躍いただき、皆様の活動が更に一層広がっていくこと願うものでございます。

結びに、伊奈さいたま会様の益々のご発展と皆様のご健勝を心よりお祈り申し上げます。



彩の国いきがい大学伊奈学園（埼玉県民活動総合センター内）

伊奈さいたま会 10周年記念……会長挨拶

会長 平林 知人
(専科1期)

会員の皆様、「伊奈さいたま会10周年」本当におめでとうございます。

光陰は矢のごとし、はやいものですね。縁あって学び舎を同じくした向学の仲間が集い合って活動をして参りました。「その集大成を一つの綴りにしようじゃないか」と今年の総会準備作業をしながら役員の誰からともなく沸き起こりました。“ボランティア活動を通じて、少しでも社会参加活動を”と云う、いきがい大学伊奈学園建学の精神が先輩有志から沸き起こり、次第に川下の私達後輩へ引き継がれて参りました。



私は専科1期でお世話になりましたが、現役の時も校友会活動の中でその精神は感じておりました。我が「伊奈さいたま会」も其の精神が日々の活動の中に脈々と受け継がれております。それは活動を偏重させるものではなく又、強制でもなく、日常活動の中で仲間と楽しく学んだり遊んだり、そのゆとりの中からこそ、迸り出るエネルギーこそが相手に通じるものだと思います。

「クロスロード」と云う映画が昨年11月28日にクランクインされました。有名なT新聞社会記者の吉岡逸夫さんがプロデュースされた映画です。主役はEXILE（エグザイル）の黒木啓司さんです。若い二人の青年がJAICA（海外協力青年隊）で、フィリピンの貧しい村と東日本大震災の被災地岩手県大槌町を舞台に繰り広げる内容ですが、JAICAに入隊する前は“ボランティアは偽善だ”と叫んでいた男。しかし現地に赴き次第に現地の人々との交わりを通じて心は次第に変化成長していくというストーリーです。「誰かがしてくれると傍観してることを、自分から進んでやること」、それが「ボランティア」なんですね。ロードショーですので機会を見て是非観覧されることをお勧めします。

最後になりますが、地球温暖化による環境変化といい、イスラム国の動き、テロ等答えのない戦争といい、又、夢が見れない若者たちが溢れる等など、先行きの見えないカオスの時代が続きます。そんな時代だからこそ、私達は高齢化社会のフロントランナーとして、何かをして行かねばなりません。仲間力をフルに活かし、力まずにシニア力を益々磨いていきたいものです。

10周年の節目を機に、更に次の10年に向かって良き伝統を若い後輩に引き継いで行くではありませんか。会員の益々のご健勝を心より祈念しまして、ご挨拶に致します。

「伊奈さいたま会10周年記念事業」の実施に当たって

10周年記念事業実行委員長 山田 博幸

(16期 生活環境、2代会長)

伊奈さいたま会は、平成17年5月に、いきがい大学伊奈学園の14期生34名によって設立されました。爾来、幾多の紆余曲折を克服しながら今日に至り、ここに10周年記念事業を実施できますことはまことに喜ばしく、ひとえに会員の皆様のご協力ご支援によるものと感謝いたしております。



この度、私 山田が、図らずも伊奈さいたま会理事会から「10周年記念事業実行委員会」の委員長を委嘱されました。本来なら、初代会長の渡邊忠雄氏が就任すべきなのですが、平成24年10月に急逝されたため、2代会長の私に白羽の矢が立ったのだと思います。

昔から10年ひと昔と言い節目の年と言われます。何故10年が節目なのでしょう。私には感覚的に捉えられるだけでよく分かりませんが、それでも物事は10年を経過すると驚くほど変化しているのが分かります。特に歳をとると、時の歩みは以前よりも早く感じられるもので、それだけに、10年の節目は決して軽んじてはならないものだと思っています。

10周年記念事業という宿題をもらいましたが、少ない準備期間と少ない予算の中で何が出来るのか非常に迷い悩みました。議論しても何らイメージが湧いてこないのです。あれをやればこれをやればと項目は挙がっても、どうも制約条件をクリア出来ません。ついに、極めてありふれた内容ではありますが、10周年記念誌の発行と記念パーティーの開催に的が絞られました。それでも、パーティーの前に、召田俊雄氏の講演を得ましたことは特筆すべきことと思っております。

私事ですが、10周年のことを会長在任中から認識しておれば、資料を隈無く揃えておきました。しかし、この大事なことを失念していたばかりに、記念誌発行に役立つ資料が僅かしか整っておらず、誠に申し訳なく思っております。中途半端な記念誌となりましたことは否めませんが、担当者一同、作成に随分と時間を割き尽力しましたことに免じ、ご容赦いただきたく思います。

伊奈さいたま会は、会員の皆様全員の積極的なご参加、ご支援とご協力により、新陳代謝を繰り返しながら末永く発展していくものと信じております。次の20周年記念事業を目指して、皆で知恵を絞りながら頑張っていこうではありませんか。

伊奈さいたま会「ゴルフクラブ」の歩み

江原嘉一郎（初代ゴルフクラブ部長、14期 健康福祉）

平成17年5月27日、いきがい大学伊奈学園14期卒業生34名により「伊奈さいたま会」が発足し、翌月の「介護老人保健施設あすか」入居者への外出サポート参加が活動の始まりとなった。

翌年18年11月17日、ゴルフ愛好家6名が誘い合い「川越グリーンクロス」でゴルフを楽しんだのが、後の「ゴルフクラブ」結成の足掛かりとなった。このメンバーによるゴルフコンペは、伊奈さいたま会会員以外の応援も得ながら3回開催された。



発足から2年を経た平成19年4月30日、伊奈学園15期・16期卒業生の有志が伊奈さいたま会に入会した。同時にゴルフメンバーも6名が加わり12名を以て「伊奈さいたま会ゴルフクラブ」と銘打った組織が発足した。

翌年以降、伊奈学園卒業と共に「伊奈さいたま会」入会の仕組みが作られ、それに伴いゴルフクラブ会員数も順次増加し、現在は30名近いメンバーを擁している。

このゴルフクラブは、会則を定めず、活動日は厳寒・猛暑を除き毎月1回、活動場所は近隣のゴルフ場にするなど、いくつかの申し合わせの下に「ゴルフを楽しみながら、親睦の輪を広げ健康維持を図っていききたい」をモットーにこれまで続けている。今では毎回会員数のほぼ半数近くが集い、和気あいあいの中で互いにスコアを競い合っている。また、クラブ活動の場は単にゴルフプレーだけに留まらず、プレー後の表彰・懇談や今や定例となった新年会などを通した語り合いを楽しむ集いにもなっている。

集いのある日、中学生の頃一緒だった2人が、半世紀ぶりに偶然ゴルフコンペの場で再会した。当人達が懐かしく語り合ったのは言うまでもないが、懇親の場でも皆で2人を盛り上げたほほえましいエピソードは今も記憶に残っている。

投稿直近の集いは27年10月26日、降雨による中止も含め52回目のゴルフコンペが「ノーザンカントリークラブ錦ヶ原」で行われた。今年最も少ない11名のメンバーで、この秋最も冷え込んだ早朝にスタートしたが、時の経過と共に暖かくなり重ね着を脱ぐなど、心地よい快晴の中でのプレーを十分に堪能した一日であった。

このゴルフを通した触れ合いの場は、伊奈さいたま会と共に、これからも永く引き継がれていくでしょう。



神楽坂 阿波踊りの事

前山 忠弘 (14期 生活環境)

第2期総会(平成18年5月)の折、参加者より「伊奈さいたま会」の活動はボランティアばかりでなくメンバーの交流の場でもあるべきとの意見が寄せられました。当時は発足間もない会であり活動の主体は老人介護保険施設「あすか」に対するボランティア活動が中心でした。

早速、会長(初代会長)である渡邊さんに相談の処、神楽坂では毎年7月に阿波踊り大会が開催されていることや会長の中学時代の同級生が「神楽坂で中華料理店を開いている事」を知り本年度(平成18年度)行事計画に織り込みにしました。阿波踊りと言えば徳島が発祥、今や世界的にも知られた400年の伝統を持つ祭りです、東京では高円寺の阿波踊りが有名で何時か見物してみたいと考えていましたが意外に近場で開催されていることを知りました。神楽坂での阿波踊りも平成18年当時35回を数え高円寺に次ぐ老舗です。

神楽坂での阿波踊りは神楽坂下から神楽坂上に至る「神楽坂通り会場」とその反対側のコースで赤城神社前から神楽坂上に至る「6丁目会場」の2コースです。

さいたま会としての第1回目の「阿波踊り見物」は平成18年7月28日開催、当時参加者は14期生のみで13名でした。

当日は17:30王子駅集合、地下鉄で神楽坂に向かう。神楽坂では本格的中華料理と創作料理の「天水」で食事。天水では大きな甕からくみ上げる直輸入の紹興酒が逸品! ついつい杯が進みます。紹興酒は普通氷砂糖を入れるようだがむしろ邪道、この店の紹興酒は不要で常温又はお燗を付けて

頂く、夏場の時期は冷やしてロックで飲むのも一興、違った味わいが楽しめます。食事が終わるといよいよ阿波踊り見物、店の前の通りは既に

見物の人の波でいっぱい、神楽坂坂上を目指し空き場所を捜しながら歩く。阿波踊りは勇壮な男踊りと鳥追い姿の女踊りで一連当たり30~50人構成で鉦と太鼓に合わせて会場を練り歩きます。大人に混じって小中学生と思われる子供たちの姿も散見され揃いの法被姿で踊る姿はほほえましい限りでした。

さいたま会、第1回目の「神楽坂阿波踊り」の夜は更け再び「天水」に戻り、食事と紹興酒を堪能して21時過ぎに解散、阿波踊りの興奮に浸った楽しいひと時でした。その後、神楽坂阿波踊り見物はさいたま会の定例行事として平成22年まで毎年実施されましたが「天水」店主の健康上の理由で閉店となり残念ながら中止となりました。私は5年間の阿波踊り見物皆勤でしたがその後は、神楽坂を訪れる機会も無く現在に至っております。

それ以上に残念なことは、さいたま会初代会長として会の基礎を作り、活躍された渡邊会長が平成24年10月の朝、散歩中に倒れ急逝された事です。今回の設立10周年記念行事にご一緒できないことは寂しい限りです。



伊奈さいたま会への入会当時を想う

召田 紀雄 (15期生活環境)

私の「伊奈さいたま会」への入会は平成19年でした。創立2年経過という事もあり、会の活動について試行錯誤の時でもあった事が思い出されます。市内の各区にある「社会福祉協議会」等を訪問し、ボランティア等の活動について、お手伝い可能な施設を探し出したり、会の組織を検討したりしました。



このような中で、最初のボランティア活動として、介護老人保健施設「あすか」への活動が進められました。「染谷菖蒲園」や「見沼自然公園」へ行き、車椅子に乗った皆さんに色々な花々を楽しんで頂く事、ショッピングセンターにご一緒しながら買物や食事のお手伝いをさせて頂く事、施設内での文化祭や盆踊り大会では法被姿となって、焼きそばやおでん等をお作りし、大変喜んで頂いた事等が記憶に残っています。

鉄道博物館に御一緒した時には、80代の男の方を案内させて頂きました。その方は「大阪万博の時には新幹線に乗りました。開業したばかりでしたね。しかし、その時が最初で最後です。今一度乗ってみたいです。乗せてくれませんか」というのです。車椅子から静かに降りし展示用の「ひかり号」に案内すると座席に座ったまま目を閉じるのです。

暫くして「あれから40年経ちますか・・・。日帰りで大阪まで往復できるようになったのですから、その時は本当にビックリしました」と、亡くなられた奥方様と2人で新幹線に乗った事をしみじみと思い出し、当時の事を色々と私に話し掛けるのです。心の中のこうした想いが余程嬉しかったらしく、目の中に涙を浮かべて喜びの気持ちを表しておりました。

会の親睦活動等も次第に開かれて行き、東京・神楽坂での暑気払い、秋ヶ瀬公園の清掃活動、見沼田んぼのウォーキング、障害者交流センターでのグラウンドゴルフ・・・等があります。中でも、県内産業をこの目で学ぶという事から狭山での本田技研工場見学会を実施し、1分足らずの間に車が完成して行くラインを見学し驚きました。「最初は思案段階であった会の活動」も次第にこのような動きが見られるようになり互いに喜び合ったものです。こうした活動の記録係りを仰せつかった事も思い出に残っており、創設10周年を迎え、当時の記録を一つ一つ繰って行くと、とても懐かしい思いにかられます。



心に残る学園入学の際の所長の挨拶

小山 光 (15期 ふるさと伝承)

私が「彩の国いきがい大学」に入学した時の所長挨拶は、誠に厳しいものであった。

「ハッキリ言って、埼玉県の乏しい財政を割いて、老人を教育しても得るところは無いに等しい。県が期待する事は、皆さんがかって現役であった時に身につけた仕事の進め方や人脈を元に、地域社会に対して役立つ何かをボランティア活動で貢献して欲しいという事である。この二年間、皆さんにはこの事を念頭に学んで欲しい。もしその気持ちがない人は、すぐ退学して欲しい。」

サラリーマン生活を終え、これを機会に地元埼玉の歴史について学ぼうと言う考えだけで入学したが、この挨拶を聞き考えを改めざるを得なくなった。確かに我々が受給している年金の源である現役サラリーマンの社会保障関係の負担は増大の一途を辿っている事も考えれば、一理のある話ではあった。

卒業後は、居住地の自治会役員、老人施設への奉仕などをささやかながら行って来たが、幸いに平成17年には「伊奈さいたま会」が発足し、会則にも「地域社会に対する貢献」「地域活動等社会参加」が盛り込まれ、介護老人保健施設「あすか」に対するボランティア活動を皮切りに、ホームページにみられる様な多彩な活動を展開し現在に至っている。会員の中には「関利雄」さんという93才の高齢をものともせず、施設の慰問や歴史を振り返る講演など、地域に密着した活動を率先して行っている誇るべき会員もいる。今後とも、緊密な交流を元に一目おかれる様な組織として、活動を展開するよう務めたいと思っている。



みんなで歌おう会 「歌の力」を伝えよう

池田 淳子 (16期 健康福祉)

16期の卒業年次には「伊奈さいたま会」に22名の入会がありました。現在は3名のみとなりました。いなかの両親が週1日、デイサービスを受けていましたが、そのお礼となるか、私も何かボランティアらしきものをしていました。



そんな折、樋口元会長からお話が出て、平成24年4月から、毎月第一水曜日の午後「みんなで歌おう会」会員20名で北浦和にある「介護老人保健施設ジェイコー埼玉」を訪問しています。「伊奈さいたま会で～す。今日も元気に歌いましょう。では、39ページをあけてくださ～い。赤とんぼですよ」手元の難しい利用者さんには、お手伝いをして楽譜をめくります。皆がそろろうのが待ちきれずに口ずさんでいる利用者さんもいます。ハーモニカ奏者2名、キーボード奏者1名が伴奏担当ですが、童謡、抒情歌、民謡、歌謡曲、演歌など、季節に合わせ、司会者の名調子で楽しく歌いだします。楽譜を見なくても歌える人がいます。中間あたりで体操のお兄さん？に軽い体操を指導していただいて気分転換を図り、後半の歌が始まります。あっという間の1時間ですが「なつかしい歌が歌えた」と涙ぐんでいる人「好きな歌だったよ」「楽しかったよ」「ありがとう」の声に私達も元気をいただき、来月はどんな曲を・・・と選曲にワクワクしています。普段お話しも出来ない利用者さんが大きな声で歌っていたと看護師さんが驚いていたのが我々の励みになっています。

1人でも多くの方に仲間に入っていただき、感動を共有しましょう。お待ちしております。

「地域で社会貢献を」 ボランティア活動の推進

樋口 勝彦 (17期 福祉環境、第3代会長)

伊奈学園で学んだ中で一番印象に残っているのは「卒業後は地域で社会貢献を」と指導を受けたことです。2年間叩き込まれました。



伊奈さいたま会も目的として・会員の親睦・生きがい作り・社会貢献を掲げています。平成年24年に会長に就任した時は、先輩方の伝統を引き継ぐ中で社会貢献(ボランティア活動)を柱に運営して行こうと思いました。

そのためには活動の幅を更に広げることが必要です。ボランティア活動先を開拓すること、これは皆上副会長が中心となって推進して頂きました。従来の介護老人保健施設「あすか」の他に「大宮共立病院」「ハートランド東大宮」「ジェイコー埼玉」「ケアセンターそよ風」「視覚障害者福祉協会」などの新しい施設での活動をスタートすることが出来ました。

伊奈さいたま会内では「ジェイコー埼玉」でのコーラスを「みんなでうたおうクラブ」とし、又清宮副会長の下で伊奈学園いきいきフスティバル参加の為「紙ふうせんクラブ(子供向け折紙・工作)」を立ち上げました。このふたつのクラブはスポットで回数も少ないのですが、学童保育などへのボランティアを行っています。

会長になって実感したのは、会員の皆さんは既に個人やグループで伊奈さいたま会以外でボランティア活動を実践されていることです。伊奈さいたま会は現在新しいクラブが増えており皆さんの関心もボランティア活動だけではなく親睦また生きがい作りと多様になって居ます。いずれの分野にせよ皆さんの力で伊奈さいたま会を盛り上げて行きましょう。

スポーツ文化活動部を思い返して

清宮 信雄 (18期 福祉環境)

私がスポーツ文化活動部を担当していたのは、平成22年から25年のころでした。

当時は会もようやく諸先輩のご尽力により、会の方向性が安定し年間行事も定着してきた時で、会員数も年々増加し120名を越すようになった時期でした。部の課題としては、広く会員の方が参加できる場としてのクラブ活動が必要ではないかと考えていました。



スポーツ文化活動部として取り上げたのが福祉活動を目指した折り紙の「紙ふうせん」とグラウンドゴルフの二つの創部と、パソコン教室の開催、および「スイーツ講座」でした。

それぞれ苦労もありました。「紙ふうせん」は平成22年1月頃、私たち何も経験がありませんので、まずは児童福祉を体験しようということで、北浦和のボランティア団体をお願いして、体験入学させて頂くことになりました。参加したのは、山崎高三郎さん、榎本邦子さんと私の3名でした。放課後に児童を集めて折り紙や、縄跳びの遊びを一緒に行うわけですが、場所がなんと一月中旬の、寒風吹きすさぶ小学校の校舎の裏庭でした。私達はそれにめげず一生懸命20人からの児童の遊び相手となりました。

その後16期の松永様に折り紙の教を請い、20名の会員が集まりました。そして県活、年間最大イベントである、「彩の国いきいきフェスティバル」へ平成24年11月に初参加を果たして大いに気を吐いたものでした。

グラウンドゴルフクラブは当時の山田博幸会長の英断により、会から助成金をいただき、自前の用具を取り揃えることができました。この事がクラブ運営のキーポイントであったと思っております。パソコン教室は、樋口勝彦さん、江原嘉一郎さんと私の三人で、講師を務め二年間ぐらい継続しました。最後に一回だけの講座でしたが、18期の土屋潤子さんを講師に迎え、シーノで、パウンドケーキを作った楽しい講座でした。

以上が私の在任期間の活動内容ですが、各クラブは受け継がれて、活動されていることが大変うれしく思いますし、ご支援いただいた方々に深く感謝申し上げます。

社会貢献活動に参加して

荒井 博 (20期 福祉環境、第4代会長)

私は、平成21年4月にいきがい大学に入学し、23年3月に卒業しました。時あたかも「東北地方太平洋沖地震」が23年3月11日に発生したため予定の卒業式が開催できず、時期を遅らせて卒業証書は戴きました。しかし、既に卒業式を前にして「伊奈さいたま会」に入会申込みを行っていました。入会にあたっては、いきがい大学で2年間



にわたって自治会長を経験していたこともあって、23年の定期総会時に時の山田会長から規約にはないが、事務局長をやってほしいといわれ、会の運営に全面的に携わることとなりました。その後、25年4月には規約改正が行われ、総務部長として会の業務に携わりました。そののち26年4月に会長として、会の業務全般にわたって担当しました。

伊奈さいたま会が設立された経緯は、個人的には不明の部分がありますが、会の発足時の思い出として、初代の渡辺会長が残された「伊奈さいたま会発足時の思い出」(後半参照)として残されているものがあって、これによれば「いきがい大学伊奈学園で学んだ知識と会員相互の親睦を図り、会員相互の生きがいを求めるため、『研鑽と親睦、社会貢献』を事業目的に掲げ、少しでも社会貢献を行うこと」が求められました。

そこで伊奈さいたま会の事業を列举すると、本来の定期総会及び理事会の運営、会計監査の実施、そして会員相互の研鑽と親睦事業としての会員相互の研修会とグラウンドゴルフ大会、新人の歓迎会、暑気払い、中山道巡り、地区活動団体説明会(新入会員の勧誘)があり、社会貢献事業として介護老人保健施設(あすかやジェイコー埼玉等へのボランティア活動)そして視覚障害者のSST活動へのボランティア活動、荒川の河川敷の廃棄物撤去や見沼田んぼのクリーン作戦が実施されてきました。そのほか会員相互による親睦事業としてスポーツ・文化活動も合わせてのクラブ活動を通じて実施されてきました。

今後、伊奈さいたま会としてこれらの事業の発展が望まれるところです。

平成23年度

8月暑気払い、11月見沼田圃散策、12月研修会、3月蕎麦打ち、3月見沼田圃グリーン作戦



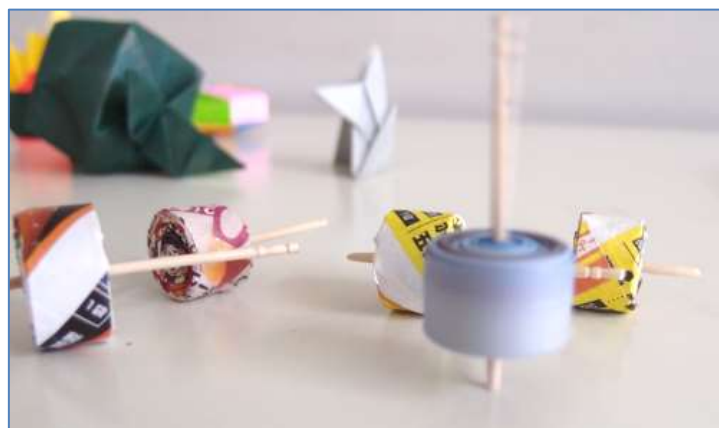
伊奈さいたま会参加でヨイショ！

大里英夫 (20期 ふるさと伝承)

入会したのは東北大震災で伊奈 20 期の卒業式が延期になった直後の 2011 年 4 月。それからすでに 5 年になる。その間どんな行事に参加したか、思い出せるのはほんの三つか四つ。思えば同期で入会した 28 名の仲間のうち半数近くは、最初の 1 年か 2 年で退会してしまった。残念ながら会の行事に興味を持たず、会の有用性に気づけなかったのだろう。たしかに会の行事で興奮をおぼえた記憶は??? しかし行事に参加すれば、それは時間の無駄ではなく、かなり大きなプラスを得ることができたと私は実感している。一番大きなプラスは、知らなかった他の会員と知り合えたこと。



さいたま会から少しでも多くのプラスを得たいなら、できるだけ頻繁に行事に参加し、会を盛り上げることが会員個人の立場で必要なのではないか。要は心構えの問題。私はそう考え、時間の都合がつく限り今後も参加するつもりです。ゴルフ、ハイキング、史跡めぐり、蕎麦打ち、社会見学などなど、期待しています。皆さん、行事で一緒にしましょう。



伊奈さいたま会創立10周年記念式典・記念講演・祝賀会の思い

高場 勉(副会長兼総務部長、21期 地域創造)

不肖私が今年伊奈さいたま会総務部長の重責を担う事に成り今日まで会員皆様のご支援に依り諸活動を推進して参りました事に深く感謝致しておる次第です。

思えば今年度第1回理事会(5月10日)に総務部より10周年事業開催の提案を致し、全会一知で開催致す事に成りました。

以後 記念誌発行・記念式典・記念講演・記念祝賀会取り組んでまいりました。

平成28年1月29日(金)に大宮市内道山閣にて参加者60数名の参加者を頂き盛大に記念事業を開催することが出来ました。

記念式典では、来賓伊奈学園所長 佐藤ひさ子様をお迎えし厳粛の内に終了出来ました。

記念講演では、伊奈学園13期卒業 召田俊雄様の記念講演を頂き演目は 夢を求めてシルクロードを12年かけて自転車と徒歩で1万5千キロ踏破に成功された。その体験を素晴らしいパワーポイントにて講演は見事であり皆様も感動された事と思う、

祝賀会では、伊奈学園15期卒笑福会代表長沼温御一行による演芸、更に伊奈学園専科5期5名の方々による南京玉すだれ演出、会員によるマジック演技、参加者全員によるコーラス、いずれも素晴らしい演出で非常に良かったです。

この様に創立10周年記念事業が盛大に挙行出来たのも14期卒の皆様方が設立され、それを素にして、今日まで伊奈さいたま会の運営にご尽力を頂いた諸先輩役員・会員の皆様に心から感謝申し上げる次第です。

10周年記念を基に今後更に会員相互の親睦と共助精神・共感精神を高め、生きがいを求めるため、伊奈さいたま会の益々の躍進を心からご祈念申し上げます。



マレー半島上空の B - 29爆撃機邀撃戦

関 利雄 (専科 1 期、21 期 地域創造)

昭和 19 年 1 月 5 日に B-29 の本格的爆撃を受けたシンガポールの第三航空軍では比島決戦の為軍所属戦闘機部隊の大部分を抽出され、西方方面からする敵の反抗に対応するため 1 2 月 5 日各飛行隊に種々の作戦任務が付与された。

我が隊では暮れから正月にかけてマレー、クワンタン沖で船団援護を実施した、概ね朝 9 時頃より日没までが我が隊の責任時間で船団の上空を大きく旋回をしながら異常の有無を確かめるのであるが、船団上空を何時間も同じ姿勢で飛行するのは苦しいものである、日没後基地に戻り翌日再度船団上空に戻り無事を祈りながら敵潜水艦の有無を監視するのである、船団援護は翌年 1 月いっぱい続いた。



昭和 20 年 2 月 1 日、10 時 25 分シンガポールに空襲警報が発令され私は即座に戦闘機俁で邀撃に上がった、警報が早かったので私は高度 5,000 メートルで待機した。

11 時過ぎに B-29 爆撃機約 20 機が北方から侵入し 4 機編隊でセレーター軍港並びに市街地を爆撃した、地上からの高射砲弾幕で敵の所在を確認し私は敵の長機に照準を合わせ千メートル付近真正面から 12.7 ミリの機関砲を銃身も焼けよとばかりに連射した、敵機の左エンジン 2 基から赤褐色の炎と煙が噴出し高度を下げながら逃走して行く、私の機体にも数発の弾丸が当たり右の翼には大きな穴が開き敵弾の命中時には「カンカン」と響く金属音と共に機体を貫き基地に戻って確認したところツバサに 3 発胴体に 4 発その内の一発は正面計器盤に当たって操縦席の中に落ちていた。

翌日現地の「昭南新聞」の記者が基地を訪ねてきて真正面の計器盤に当たり弾丸が落ちたのは昭南神社のお守りのお陰だと翌日の新聞記事に大きく掲載されたがいまでは見るすべも無く残念である。

なお B-29 のその後の消息は 2012 年に、アメリカ在住のウイリアム・スイン氏から私の友人を通しての便りで次の様に判明しています。

・・・2011 年に南シナ海で機体が発見され、乗員 12 名は戦死と公式認定された・・・



陸軍一式戦闘機「隼」

伊奈さいたま会入会の動機について

矢 内 四 郎（副会長兼企画部長、21期 福祉環境）

会員の皆様はどんな気持ちで入会しましたか。人それぞれ思いは違うと思いますが卒業前に学園のOBの皆様のプレゼンテーション時に色々会の内容を説明してもらいました。



小生の入会の動機は単純でした。1) 自分の趣味が続けられるクラブがあったから 2) 若い時代ですと職場の同僚とか友人が多く居りましたが現役を退職し時間が過ぎると友人が自然と少なくなります。

自分から積極的に行動しなければ友人は増えません。このような事からさいたま市を中心とし自宅から近く非常に便利な伊奈さいたま会であることから入会させていただきましたが快く迎えていただきました。本当に入会してよかったなと思うことは自分と同年代の人たちで学年は違っても伊奈学園で学んだということで近親感があり気持ちの良い人たちと交流させていただき楽しんでおります。

現在は色々のクラブ活動に参加させていただき忙しい毎日を過ごして居ります。

これからも健康寿命の続く限り会員皆様と共に楽しんでいきたいと思ひます。



絆を広げるパソコンクラブ

山口 良夫 (パソコンクラブ部長、22期 地域創造)

伊奈さいたま会に入り3年が経ち、2年目の暮れにパソコン教室を、フォトムービ、お正月の準備と4回にわたり開催しました。

この教室の参加人数は、10人程度と低調に終わりました。この原因を突き詰めると、スポットの為、参加したくても日程が合わない方が多くいた事を覚えています。

このため、参加したい方が予定として定例的に参加できるように平成27年度から第2、第4月曜日の午前を学習日とし浦和コミュニティのIT室と武蔵浦和のコミュニティを会場とし毎月2回のペースで実施しています。

パソコンの学習時は、隣や前後の人以外のコミュニケーションが取れない事がネックとなっていました。

学習日を午前としたため、みんなで一緒にランチをするのが楽しみの一つになっています。また、クラブ員のコミュニケーションを図るため2~3月に1度の小な旅を実施しています。

よく遊び！！よく学べをモットーに



伊奈彩江戸蕎麦倶楽部発足

山崎 高三郎（副会長兼社会・スポーツ文化部長、専科1期）

今年度（27年6月）盛暑の異常気象に辟易した中、さいたま会は10周年を迎え、今後の発展を期して会員皆様と充実した楽しいクラブ活動の開発を通じて、会員相互の絆を図り地域社会との交流を推進のため、各種クラブを設立することが確認されました。こんなことで楽しいさいたま会的一端を担おうと平林会長の発案で「江戸時代中期頃から江戸っ子たちに愛された蕎麦は世界に誇れる日本特有の食文化」という歴史的背景



や今日解明された蕎麦の品種、栄養素など健康管理を求めて、旨い手打ちソバを打つ技術を習得しようと、倶楽部が立ちあがりました。講師を務めて頂く平林会長は彼の名店一茶庵の、そば聖と謂われる片倉康男塾の門下生で、長年調理技術技能の研鑽、中国、インド、ネパール且つ米国等、海外とのソバ交流ボランティア活動を行っているベテラン指導者です。

当倶楽部のスタート第一回例会は、7月3日北区宮原町の大沢様宅「ひだまり」にてお世話になりました。本来そばの味を重視するとしてメニューが、もり・かけ・せいろを食すと言いますが多様なニーズに応えねばならないと思っております。いわゆる種物も楽しんでみようと豪華に野菜天ぷらを女性会員に揚げて頂き、楽しんで美味しく頂きました。（参加者14名）

第2回定例会・・・9月18日宮原コミュニティセンター「越前おろしそば」参加者11名。

第3回定例会・・・11月26日宮原公民館 「鴨そば」 参加者 9名。

第4回定例会・・・1月21日宮原コミセン 「くるみだれせいろ」参加者 7名

蕎麦は一見、地味だけど栄養価は殊のほか高いようで、血管を強くしたり、高血圧の予防にも効果があるといえます。諸々の蕎麦の栄養については次の機会に委ねますが、会員の皆様には健康に留意して「お蕎麦を好きに」なって食べましょう。



グラウンドゴルフ部を振り返って

落合理一（グラウンドゴルフ部長、専科2期）

グラウンドゴルフ流行の波を受け平成23年4月に清宮信雄氏が初代部長でスタート。部長・副部長2名・会場及び用具担当2名・競技委員3名・会計2名の11名のそうそうたるクラブ役員の陣容で発足しました。

設立後のGG大会は40名以上の参加者で溢れ、その大会前後に初めてクラブを握った方も多かったと記憶しています。小生もそのうちの一人です。



伊奈さいたま会内の大会は県の障害者交流センターの野球場を借りて2~3回開催しました。刈り込みをしていない芝生の外野を利用してのプレーで方向性や転がりが悪くどこへ行くか予測もつかず今思えばコースの難易度はとても高かったと思います。

発足後のクラブ運営は、先ず道具を借りて利便性の高い場所を探すのが第一でそれから部員に連絡し参加者を集めるという手順でした。せっかく準備して待っていても数人程度しか揃わないこともあり清宮部長は大変苦労されたと聞いております。

その後に会全体からの支援でホールセット等の用具も準備できいつでも出来る状況となりクラブとしての体裁も整いました。

場所を大宮三橋公園に絞り定期開催を始めたのですが今度は参加人数のばらつきが大き過ぎてその解決をはかる為の苦肉の策で他のクラブと合同練習を企画し、会として場所を含め練習機会を増やしながら活動を続けてきました。そんな中、平成24年期中からクラブの清宮部長の急病による要請で急遽後任を引き受けることとなり副部長に沖原さんを選び今日に至っております。

現在は練習場所を北区の吉野公園とし（祭日を除く）毎週水曜日に常時開催することとし24名の会員と11名の準会員（合同練習で交流のスマイルの会の方）を加え賑やかに活発な練習会を開催しています。

特に今夏は猛暑の中で「木陰を利用した林間コース」が設営でき、変化に富み難易度も高く涼しく楽しめる真夏の練習会が実施出来たことは特筆できます。グラウンドゴルフは「若返りと健康増進」の為、お金もかからず楽しく長く続けられる生涯スポーツです。

これから始めたい方もどなたも大歓迎ですので是非気軽に入部し参加ください！



見沼んぼ

島田 千恵 (専科2期)

伊奈さいたま会では平成21年から3回にわたり「見沼散策」を行った。私は23年に自然が多く残る中央部地域を訪れた。名主深井家の長屋門の辺りには、色づいた小さな渋柿が秋空に映えていた。



私は昭和45年に東京から浦和に移り住んだ。子どもが幼い頃、見沼代用水の西縁辺りにザリガニを取りに出かけた。棒の先にスルメを付け用水に垂れると面白いように釣れた。かなたに目を向けると何もない、手つかずの広大な自然が残されている光景に感動した。見沼んぼを緑地として保護する「見沼三原則」を知り、誇らしく思った。

そして、見沼には多くの竜神伝説が残されている。見沼を干拓した井澤弥惣兵衛に関する伝説には「井澤弥惣兵衛の夢に見沼の竜神が現れ工事を延期してほしいと頼んだが、聞き入れないと知ると、やがて井澤弥惣兵衛は病気となり・・・」自然を畏怖し、崇拝する精神が竜神伝説を生み出したのだと思う。自然破壊に繋がる開発を戒める意味で竜神伝説は今なお生きている。さいたま会の今後の企画として見沼散策の再登場を期待している。



平成23年11月見沼散策

ホームページと共に

双田 武夫 (ホームページ委員、専科2期)

私は、専科二期生から平成23(2011)年4月に会員となりました。同僚の落合会員(当時専科二期会長)が強引に伊奈さいたま会会長(当時山田会長)に掛け合いホームページが表紙しかないののでどうかお手伝いするように言われ、あまり入会の意志はなかったのですが、そういうことならとお世話になることになりました。



そして5月にほぼ下地ができ、6月末に内容を発表、この後、一年間で一日当りのアクセスは6回程度でした。平成24年、25年と新入生歓迎会でホームページの内容を紹介、2年目頃からホームページも地についてきた感があり、IINC(伊奈いきがいネットクラブ)からも一定の評価を頂き、当ホームページの充実を受け、今までイナヴォイスの傘下となっていたOB会のホームページを独立させることになり平成26年度に独立しました。

現在は、累計2万1千アクセスを超え、スタートから平均すると一日のアクセスは13回程度になります。現状は一日20回程度と思われまます。目指すはみんなが紙を持たなくてもホームページで簡単に情報をチェックして活用できる伊奈さいたま会のエンジンの役割を果たせることです。

「情報弱者」という言葉があります。主にITを使えない高齢者を指す場合もあるようです。新聞、テレビ、郵便物等に頼っているだけでは十分な情報を得られずコストも高くなります。通信インフラは十分に整ってきましたので、パソコン勉強会に参加し、変化に食らいつき若者に負けない「新老人」を目指して活動しましょう！ ホームページが一定の役割を果たし、いずれSNSへ進化し、老人クラブとしてイチバンITに強いクラブにしましょう！ ここ一番情報、面白写真等投稿をよろしくお待ちしております。(会の一番の弱点は投稿が少ないことです)



生きがいへの入り口

山崎春枝（紙ふうせん部長、専科3期）

専科3期を卒業して伊奈さいたま会に入会し、4年になります。

始めて折り紙の会に入り時々出掛けては先輩方と一緒に折り紙をして会話を楽しみました。年1回、県活での「いきいきフェスティバル」に参加しました。子供さんたちとのふれあいで、声をからす程一日楽しく過ごしました。



思い返すと2年目には折り紙の会も「紙ふうせん」と名前がつき4年目の今年は正式に「紙ふうせんクラブ」になりました。

折り紙は奥が深く、一枚の紙での変化・・・みんなで教えあい覚えることは素敵です。
あ！という一年になります

年齢を加えるごとに他のクラブにも興味がわき、だんだん出掛ける回数も増え、伊奈さいたま会のお陰で若返っているようです。

これからもいきがい大学卒業という連帯感で、先輩・後輩のつながりを大切に伊奈さいたま会が栄える事を祈っております。



平成24年度

新会員歓迎会、8月暑気払い、2月グリコ工場見学、3月 JAL 工場見学



「伊奈さいたま会」に入会して

山本 政美 (専科6期)

今年度から伊奈学園の2年生大学院が廃止となり、1年間の専攻科が作られたが、進学してまったく同じ内容の「郷土コース」を受けるのも意味が無いので、卒業して住まいの関係の「伊奈さいたま会」に入会することにした。



終業式に会の案内書もらったが、サークルが3つしかなく、非常に熱心にボランティア活動について書いてある為、その活動の負担が大変だと思ったことを記憶している。

因みに入会者数は120名中5名だったが、進学者がいるのを考慮してもちょっと少ない気がする。

入会して名簿や会則などをもらい、サークルが2つ増えていたが、同期の理事の西河さんからの誘いもあり新しいパソコンクラブに入部した。講師の山口さんは、とても解りやすくかつ丁寧に説明していただけるのと、親切な2人のアシスタントがいらっしゃるの、頭の固い私もどうにか授業についていける。また、このクラブは野外活動か昔の遠足のようなことが3回あり、一度参加したがとても楽しかった。行ったところは羊山公園、巾着田、昭和記念公園である。その後、そば打ちやカラオケが立ち上がり、カラオケに入会し月1回、お酒無しで下手だが真面目に歌っている。

平林会長の、特技や能力のある会員はそれを会の中で発揮して欲しい、という精神のもと、10月に2件サークルが立ち上がり、今は9つに成ったようだ。入会時と様変わりだ。これは、それまでに尽力した理事の方々のお骨折りの賜物以外なにものでもない。ただ感謝、感謝あるのみである。

今は、「伊奈さいたま会」に入会して本当に良かったと思っている。そして、これからも行事、ボランティア活動、サークルにできる限り参加し、それ程長くない人生を楽しく、意義あるものにしたいと願って止まない。



ぶらり旅

西河 秀子 (専科6期)

史跡 グルメランチ ローカル線の旅 ハイキング等すべてを網羅した何でもありのクラブです。月一回催行を予定しています。現在20名の会員です。

どなたでも疲れず知らずで歩ける行程と、中々1人では生きにくい場所にみなさんと、ご一緒に出掛けたいと思います。

第1回は、平成27年11月16日平林寺紅葉狩りを実施いたしました。



天気に恵まれましたが今年は、少し早すぎました。新座駅から平林寺総門まで地元の方々の挨拶を交わしながら歩くすがすがしい気持ちにワクワクでした。昼食は、近くのグルメうどんを食べ皆の元気に乾杯をしました。

松平信綱の墓 武蔵野の面影を残す雑木林の散策を堪能してきました。

第2回 1月15日 鎌倉七福神巡り

第3回 2月9日 ノーベル賞受賞した大村智氏の葦崎大村美術館

第4回 3月31日 花見予定 (開花状況により開催日変更有)

会員の皆様が一歩でも外に出る機会の場合として、いつまでも元気で多くの人と語り合いシニア人生が楽しめるクラブでありたいと思います。

ひとりでも多くのご参加をお待ちしております。



平成 23 年 6 月 22 日

伊奈さいたま会発足時の思い出

初代会長 邊辺 忠 雄 (14期)

平成 17 年 1 月の「シンポジウム」終了後、当時の今井所長より、さいたま市の様な大きな地域に伊奈学園のOB会が無いのは寂しいね。14期が中心になって「地域に密着した校友会」を立ち上げて欲しいとの要請があり、有志に相談の結果、卒業後の「地域密着の活動母体」を作ることに賛同を得て、14期校友会役員であったさいたま市在住者が発起人となり、さいたま市在住 14 期生全員入会 (34 名) の下 17 年 5 月正式発足した。いきがい大学伊奈学園で学んだ知識と会員相互の連携を満に協調親睦を図り、会員相互の生きがいを求め、「研鑽と親睦、社会貢献」を事業目的に掲げ、少しでも社会貢献することにいきがいを求めることにしました。

将来の発展を予測し、10 区からなる地域を 4 ブロックに分け、支部の母体となるよう組織し、支部活動による密着型事業展開を狙いましたが、当時は母数が少なく事業参加者の子数に支障を来し、活動を当面 1 本化することにしました。当初社会活動として社会福祉法人「瑞泉」介護老人施設《あすか》・さいたま市見沼区コミュニティ課・伊奈ヴォイス等に団体登録をし、社会活動を展開しました。当時は《あすか》の年間企画行事全てに参加すると会員数も少なかった関係で多少無理をした格好になり、社会貢献事業にばかり注力しているのではないかと、我々の「懇親・研鑽の場」が少なすぎると言ったクレームも入りました。懇親会事業として立ち上がったのが観桜会《見沼代用水西縁》であり、東浦和から満開の桜に見とれながら散策し、打ち上げは「案山子公園」でのビールパーティでしたが、この時の豪傑の逸話は 14 期の語り草になっています。その後見沼田圃散策や各地域探索行事に多くの会員が参加されていますが、懇親行事も地に足が着いて来た事をうれしく思っています。

当初 6 名であったゴルフクラブが年間奇数月開催で 1 回に 4~5 組参加者を見る様になりましたが、当初は 2 組予約しても辞退者が出たり他地区の友人に友情参加を願ったりで榎本さんには、ご苦勞を掛けました。回も重ね 2 2 回コンペ (5 月 31 日) は 4 組 16 名の参加があり、会員の増加と共にコンペも盛大になりました。34 名からスタートしたさいたま会が 100 名を超える組織になり、各期役員の皆さんの積極的事业展開が魅力で、ますます行事に対する参加者が増える方向にあり、感謝すると共に「今は昔」となりました設立当初の思い出に一時を過ごし、雑文ではありますが御報告いたします。(ホームページから抜粋)

私の主人 - 伊奈さいたま会初代会長 渡邊忠雄 - のこと

渡邊 俊子

伊奈さいたま会設立 10 周年おめでとうございます。

生前は大変お世話になりました。

いきがい大学 14 期生として、大学自治会長を引き受け、また、さいたま会の発足時には皆さまの後押しを受けながら、伊奈さいたま会初代会長として、会長職を 4 年間続けられた事は、会員皆様方のご支援、ご協力の賜物と感謝しております。

早いもので旅立ってから丸 3 年が過ぎました。振り返ると、機関車の如く「どんな坂、こんな坂」と引っ張って行ったような気持ちが致しません。

昭和の時代を駆け抜けた会社一筋のモーレツサラリーマン生活にピリオドを打ち、「さてこれから」と考えた時に、まずは男の料理教室やいきがい大学（県・市）に通い、スロースタイルを楽しむつもりが、大学自治会会長・地域自治会役員とそれは毎日休むことなく、スターなみに忙しい時間を過ごしていました。

そんな中でのいきがい大学やさいたま会での活動は、さまざまな分野で共に時代を戦った友との出会いの場であり、第二の青春を謳歌する場でもありました。無芸大食を誇示していた主人が「南京玉すだれ」や「太極拳」「墨彩」「グラウンドゴルフ」と趣味の場を一気に広げ、充実した日々を送っていました。

「パソコン」も大学に入ってから覚えた事の一つで、講師の資格を取り指導するまでになりました。何事も一生懸命取り組んで、頼まれれば断わる事をしない。常にポジティブな精神の持ち主でした。

懇親会や親睦旅行等は無欠席。豪快に飲んで食べて、仲間との時間を大切に、

「一生感動」「一生青春」「一期一会」の言葉をモットーとし、日々を過ごしていました。

ここで出逢った人達の和を大切にしたいと思

い発足したさいたま会。これまで 10 年間のあゆみの中には、皆様の心に残ったたくさんの思い出があることと思います。

2012 年 5 月に東京スカイツリーがオープンした際には、翌日に大学の仲間と観光に行き、真っ先に東京で一番高い展望台から景色を望み、又、南京玉すだれを勉強した際には何度も浅草に足を運び、指導を受けました。

地域の「老人ホーム」にボランティアで出向く時などは、「いつか自分もお世話になる事があるかも知れない」と積極的に参加し、美園にある大型ショッピングモールに出掛けると「お年寄りの目がキラキラと輝いて、元気になった様だ」と喜んで帰って来た事を思い出します。

グランドゴルフ大会の時も良く下準備を手伝いました。本当に細かい事まで神経を配り、完璧主義な人でした。

このように主人のことを改めて振り返ることができるのも、最近になってのことですが、別れの日突然、前触れなくやってきました。前日は 1 泊旅行に行き、元気に帰って来て、翌朝はいつものように犬の散歩に出掛けていきました。「ロン行くよ！」と愛犬に向けた言葉を聞いたのが最後の言葉でした。

「こころの準備」というのはできないものですが、いつも健康だから大丈夫と考えておりました。大きな落とし穴があるとも言います。皆様におかれましても、どうぞ健康に留意し、第二の青春を悔いなく楽しんでいただきたいと思います。主人はきっとやりたいことはやり遂げたんだと思います。

共に過ごしてくださった皆様、本当にお世話になりました。そしてこれからの伊奈さいたま会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

乱文、乱筆ではございますが思いついたまを綴ってみました。

クラブ活動状況

クラブの下段は代表者（設立年月）

<p>ゴルフクラブ 桑原考紀（平成 19 年 4 月）</p>	<p>グラウンドゴルフ部 落合理一（平成 23 年 4 月）</p>
<p>主にノーザンカン トリー錦ヶ原で春 秋の年 6 回開催 忘年会もあり。</p> 	<p>練習日 北区吉野町公園 毎週水曜日午後</p> 
<p>紙ふうせんクラブ 山崎春枝（平成 24 年 4 月）</p>	<p>みんなで歌おう 皆上一三（平成 24 年 4 月）</p>
<p>毎年 1 1 月のいき いきフェスティバ ルを目指し 4 月から 折り紙づくりの練習 をします。</p> 	<p>毎月第一水曜日午後からジェイコー埼玉で歌うボラ ンティアをしています。</p> 
<p>ドレミの会 池田淳子（平成 27 年 4 月）</p>	<p>パソコンクラブ 山口良夫（平成 27 年 4 月）</p>
<p>カラオケの会、 大宮三橋のウェアハウ スで楽しんでいます。</p> 	<p>メール、年賀状、 デジカメ処理、 ワード・・・ パソコン怖くない！</p> 
<p>伊奈彩蕎麦倶楽部 山崎高三郎（平成 27 年 7 月）</p>	<p>ぶらり旅クラブ 西河秀子（平成 27 年 10 月）</p>
<p>会長自ら指導 作り始めたら外で は食べられない よ！</p> 	<p>毎月 1 回開催 会員 20 名</p> 
<p>囲碁クラブ 伊藤徳雄（平成 27 年 10 月）</p>	<p>朗読クラブ 小山光（平成 27 年 10 月）</p>
<p>月 2 回不定期 与野本町喫茶「南風」 13 時～15 時 珈琲付 ¥800-</p> 	<p>毎月第一木曜日 大宮シーノ講座室 発声による若さと脳の活性化、 ボケ防止にどうぞ</p> 

伊奈さいたま会の沿革

年 月	内 容
平成17年1月	当時の伊奈学園所長が14期渡邊忠雄氏(初代会長)に、「さいたま市在住者による校友会の設置」を要請
平成17年2月	地域密着型組織の立ち上げを目指し、発起人準備会を設置
平成17年4月	「いきがい大学 伊奈さいたま会 会則」を制定
平成17年5月	14期生 34名により発足、会長 渡邊忠雄
平成17年6月	介護老人保健施設「あすか」(さいたま市見沼区染谷)に対しボランティア活動開始、以後現在まで毎年参加
平成19年4月	15期生・16期生 31名入会
平成19年4月	伊奈さいたま会 ゴルフ部 結成
平成20年4月	17期生 30名入会 (会員数 78名)
平成20年6月	3部からなる企画運営部会を設置
平成20年11月	「荒川クリーン作戦」ボランティアに参加、以後現在まで毎年参加
平成21年4月	18期生 21名入会 (会員数81名) 会長 山田博幸
平成22年4月	19期生・専科1期生 41名入会 (会員数 104名)
平成23年4月	20期生・専科2期生 51名入会 (会員数 128名)
平成23年4月	伊奈さいたま会 グラウンドゴルフ部 結成
平成23年7月	ホームページ新規立ち上げ、活動のエンジン役へ
平成24年4月	21期生・専科3期生 入会 (会員数 117名) 会長 樋口勝彦
平成24年4月	紙ふうせんクラブ、みんなで歌おう会 結成
平成25年4月	22期生・専科4期生 入会 (会員数 121名)
平成26年4月	23期生・専科5期生 入会 (会員数 99名) 会長 荒井 博 (平成27年2月退任)
平成27年4月	24期生・専科6期生 入会 (会員数 101名) 会長 平林知人 ドレミの会、パソコンクラブ 結成
平成27年7月	伊奈彩手打ち蕎麦倶楽部 結成
平成27年10月	ぶらり旅、囲碁、朗読クラブ 結成 (計10クラブ)
平成28年1月	10周年記念祝賀会実施、そして中途入会増加し会員数114名となる

伊奈さいたま会 10年の歩み

平成 年度	期 日	項 目	内 容	参加数
17年	5月27日(金)	第1期総会	会長渡邊忠雄、副会長前山、江原、清水会員を指名	29
	6月13日(月)	外出サポート	～15日 「あすか」外出サポート 3日間(染谷菖蒲園)	20
	7月30日(土)	夏祭りボランティア	納涼大会	12
	10月19日(水)	外出サポート	～27日(6日間) 「あすか」サテイ買い物サポート	17
	10月30日(日)	祭事交通整理	バリアフリーフェスタ2005に交通整理として参加	6
18年	5月20日(土)	第2期総会	総会、懇親会実施	18
	4月3日(月)	観桜会	案山子公園で会食宴会	11
	4月3日(月)	外出サポート	～10月まで 「あすか」4月1回(12)、6月3回(15)、7月1回(12)、10月6回(12)	51
	7月21日(金)	暑気払い	神楽坂阿波踊り見物 神楽坂・中華采「天水」	15
	2月9日(金)	新体制打ち合わせ	3/12、3/30 3回シーノで新体制、総会準備打ち合わせ	22
19年	4月27日(金)	第3期総会	昼食会・講演会「マロニエ蓮田の社会活動に学ぶ」、グラウンドゴルフ(16)	36
	4月4日(水)	外出サポート	「あすか」～3月まで 4月2回(11)、7月1回(8)、2月6回(34)、3月1回(10)	63
	6月5日(火)	染谷菖蒲園散策	3日間 「あすか」ボランティア活動	26
	7月27日(金)	暑気払い	神楽坂阿波踊り見物 中華采「天水」	28
	1月29日(火)	役員会	懇親組織作り検討 活動部:(仲間づくり)部員5名、クラブ活動部:(スキル、教養)部員5名、社会活動部:(ボランティア)部員4名 総会に提案	14
20年	4月2日(水)	外出サポート	～3月まで「あすか」4月3回(30)、6月2回(17)、11月屋台村(10)、3月(16)	73
	4月30日(水)	第4期総会	昼食後13:00～グラウンドゴルフ	61
	7月2日(水)	役員会	第一回役員会	14
	7月25日(金)	暑気払い	神楽坂阿波踊り見物 神楽坂・中華采「天水」	23
	7月27日(日)	夏祭りボランティア	「あすか」開催	13
	11月19日(水)	ツアーボランティア	「あすか」～21,26～28日 迄鉄道博物館	21
	11月15日(土)	清掃ボランティア	秋ヶ瀬公園	9
21年	4月30日(木)	第5期総会	総会(52)会長に山田博幸、グラウンドゴルフ(29)	52
	7月24日(金)	暑気払い	神楽坂阿波踊り見物 神楽坂・中華采「天水」	28
	9月8日(火)	工場見学	本田技研工業 埼玉製作所 そば処「青柳」昼食後解散	15
	10月18日(日)	見沼たんぼ散策	東浦和駅～大間木氷川神社～通船堀西縁用水～民家園～見沼自然公園～(富士塚)～八丁橋～(女体神社)～東浦和駅、香蘭昼食	18
	9月13日(日)	秋祭り等ボランティア	9/13 「あすか」秋祭り(16)、3/14 屋台村(20)、3/23 民話口演(4)	40
	11月11日(水)	外出サポート	「あすか」～延6日間(24)	24
	12月11日(金)	講演会	私の太平洋戦争 講師:荒鷲乃奉賛会 会長 関 利雄氏	37
22年	4月30日(金)	第6期総会	総会、グラウンドゴルフ大会(37)	67
	5月30日(日)	見沼散策	見沼散策・懇親会	30
	7月23日(金)	暑気払い	神楽坂・阿波踊り大会見学 中華「天水」(第5回、最終回)	29
	7月25日(日)	夏祭りボランティア	「あすか」開催	21
	9月6日(月)	工場見学	本田技研工業 埼玉製作所	15
	10月26日(火)	外出サポート	延6日間 「あすか」イオン	21
	11月24日(水)	散策「岩槻」	城下町岩槻巡り(ボランティアガイド櫻井副会長)	20
12月10日(金)	講演会	隣国を知りましょう	41	
23年	4月29日(金)	第7期総会	総会(83)、新入会(51)	83
	6月30日(木)	新入会員歓迎会	徳寿庵 大宮中央ビル5F	45
	7月25日(月)	夏祭り等ボランティア	「あすか」7/25夏祭り(21)、11/14 屋台村(5)	26
	8月1日(月)	暑気払い	道山閣 大宮夏祭り(大宮駅西口)	24
	9月27日(火)	博物館見学	埼玉県立歴史と民族の博物館	38
	10月26日(水)	外出サポート	～延6日間(17)、「あすか」	17
	11月26日(土)	見沼散策会	見沼の寺社中心に散策	22
	12月9日(金)	講演会	第一部「住まいの防犯対策」中村慧氏 第二部「防犯の街づくり」小豆澤宏和氏	47

平成 年度	期 日	項 目	内 容	参加数
23年	1月30日(月)	新年会	東天紅JACK大宮店 19階	20
	3月9日(金)	蕎麦打ち体験	第1回 与野本町コミュニティセンター	19
	3月29日(木)	折り紙講習会	折り紙講習会	16
24年	4月20日(金)	第8期総会	総会(81)、グラウンドゴルフ(40)	81
	4月3日(火)	お花見会ボランティア	4/5-7 大宮共立病院お花見会(8)、4/3-5 あすかお花見会(15)	23
	4月4日(水)	みんなで歌おう	4月から毎月第1水曜1時半から「ジェイコー埼玉」で活動開始	各15
	4月20日(土)	グラウンドゴルフ大会	4/20(40)、12/11(13)	53
	8月1日(水)	暑気払い	道山閣・大宮夏祭り(大宮駅西口)	24
	10月23日(火)	外出サポート	「あすか」10/23-11/9(12)、11/18屋台村(7)、3/18屋台村(2)	14
	11月4日(日)	いきいきフェスティバル	いきいきフェスティバルに参加	21
	12月11日(火)	講演会	食の安全	29
	1月18日(金)	中山道「浦和宿」	浦和駅～うらわ美術館～二・七市場跡～玉蔵院～調神社	13
	2月28日(木)	工場見学	グリコピア・イースト 北本ファクトリー	35
	3月8日(金)	蕎麦打ち体験	第2回 与野本町コミュニティセンター	23
25年	4月23日(火)	第9期総会	総会:市民会館おおみや(68)、歓迎会:道山閣(48)	68
	4月5日(金)	お花見会ボランティア	4/5-7 大宮共立病院お花見会(12)	12
	4月16日(火)	外出サポート	「あすか」4/16-26 6回	15
	8月1日(木)	暑気払い	大宮徳樹庵(会食後各自夏祭り任意参加)	24
	8月24日(土)	夏祭りボランティア	「ケアセンターそよ風(有料老人ホーム)」	6
	8月11日(日)	納涼祭ボランティア	サンビュー埼玉納涼祭	4
	10月4日(金)	中山道「蕨宿」	蕨駅～蕨城址～和楽備神社～長仙寺の鐘～問屋場～本陣～資料館～三学院～あげ橋～蕨宿上の木戸～昼食(解散)	19
	10月22日(火)	外出サポート	「あすか」10/22-11/8 6回(10)、屋台村11/17(6)、3/16(6)	22
	11月16日(土)	清掃ボランティア	秋ヶ瀬公園、他団体と協働	4
	11月22日(金)	講演会	山月記	15
	3月7日(金)	工場見学	JAL羽田整備工場	36
	3月14日(金)	蕎麦打ち体験	第3回 与野本町コミュニティセンター	19
	3月29日(土)	見沼田圃クリーン	他団体と協働	3
26年	4月22日(火)	第10期総会	総会(52)、新入会歓迎会(34)	52
	4月2日(水)	みんなで歌おう	毎月第一水曜13時半からジェイコーで活動	各15
	4月3日(木)	花見ボランティア	大宮共立(6)、あけぼの(6)	12
	6月29日(日)	SST交流会	障害者卓球大会支援	6
	8月1日(金)	暑気払い	大宮咲くら(会食後各自夏祭り任意参加)	24
	8月9日(土)	ボランティア	8/9そよ風(7)、9/30あすか(8)、10/19瑞泉祭(4)、11/23屋台村(4)	23
	9月18日(木)	工場見学	(株)明治 坂戸工場	24
	10月14日(火)	中山道「大宮宿」	新都心駅前～火の玉不動～氷川参道(樽稲荷)～庚申塔～市立博物館～氷川神社～御影道～内倉本陣跡(すずらん通り)解散	16
	11月3日(月)	いきいきフェスティバル	いきいきフェスティバルに紙ふうせんクラブ参加	18
	11月15日(土)	清掃ボランティア	秋ヶ瀬公園、他団体と協働	6
	11月26日(水)	講演会	相続税	23
3月14日(土)	清掃ボランティア	見沼大宮公園	5	
27年	4月22日(水)	第11期総会	総会(64)、新入会歓迎会(45)	64
	7月15日(水)	工場見学	サントリー武蔵野ビール工場、深大寺参拝 昼食解散	24
	8月1日(土)	講演会と暑気払い	ブータン王国への蕎麦文化講演の体験 講師 平林会長	30
	10月9日(金)	講演会	電話詐欺と道交法改正	29
	11月13日(金)	いきいきフェスティバル	いきいきフェスティバルに紙ふうせんクラブ参加	18
	11月6日(金)	人形のまち「岩槻」散策	駅～芳林寺～高札場跡～八雲神社～弥勒蜜寺～資料館～東玉・本陣～武家屋敷通り～遷番館～一里塚～大龍寺～浄安寺～時の鐘～「鮎又」昼食 解散(ボランティアガイド 伊藤徳雄会員)	23

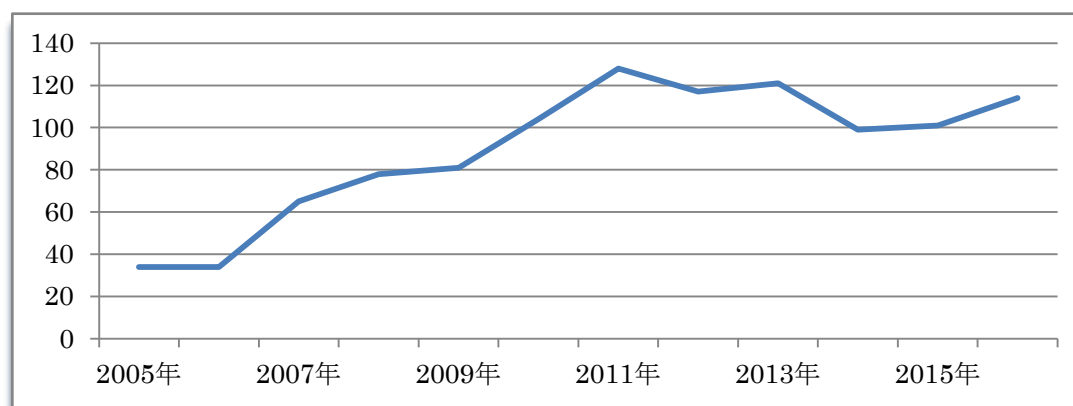
()内は参加人数

召田紀雄氏提供資料を基に編集、追加しました。

伊奈さいたま会デー夕（総会資料から）

項目	平成年度	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
会長名		渡邊忠雄				山田博幸			樋口勝彦		荒井博	平林知人
会員総数		34	34	65	78	81	104	128	117	121	99	101
対象期・専科		14		15・16	17	18	19・専1	20・専2	21・専3	22・専4	23・専5	24・専6
入会数		34	0	31	30	21	41	51	30	7	6	13
役員会 開催	回数			5	5	11	9	7	7	7	7	7
	延出席者			77	89	289	168	96	114	120	109	
施設 訪問	回数	10	11	13	14	9	8	8	11	23	8	
	延参加者	49	51	89	107	64	52	33	48	61	50	
SST交流会										12	6	8
いきいきフェスティバル									14	21	23	18
クリーン 活動	回数				1	雨により 中止	1	2	1	2	2	
	参加数				9		15	22	14	8	11	
新入会歓迎会			7		17			45	29	48	49	46
暑気払い	参加数		15	28	23	28	29	24	29	24	28	31
	場所		神楽坂				道山閣			徳樹庵	咲くら	ウエアハウス
グラウンド ゴルフ	回数	1	2	2	2	1	2	1	2	2	1	2
	参加数	13	30	43	66	29	71	23	53	33	26	46
蕎麦打ち体験								19	23	19	20	
工場見学	場所					ホンダ	ホンダ	県立 博物館	グリコ	JAL 羽田	明治 製菓	サントリー 武蔵野
	参加数					15	15	38	35	36	23	24
散策	場所					見沼 田圃	見沼 田圃	見沼 寺社	浦和宿	蕨宿	大宮宿	岩槻宿
	参加数					18	30	22	13	19	20	23
講演会	演題					私の太 平洋戦争	隣国を 知ろう	防犯の まちづくり	食の安全	山月記	相続税	電話詐欺 道交法
	参加数					37	41	38	29	15	23	29

会員数推移グラフ



ここ数年、会員数が低迷していたが改善傾向にある。

笑顔溢れる仲間たち(於:10周年記念祝賀会)





関利雄会員をNHK 鹿児島が取材



10周年の立役者の14期生



<http://www.ina-ikigai.net/inasaitama/>

伊奈さいたま会 10周年記念誌 編纂委員会

委員長：山田博幸 副委員長：平林知人・樋口勝彦

委員：高場勉・前山忠弘・双田武夫・山口良夫

掲載順は、学園長、会長、実行委員長以外は

期順に、2年制、専科の順で掲載しました。

皆様のご協力に感謝申し上げます。